

2024 年度 事業報告書

2024年度事業報告

1. はじめに

国民の祝日「山の日」は、2014年の祝日法改正により制定され、2016年に施行されてから、まもなく10年目を迎えます（2025年8月時点）。この間、山を中心とした自然や環境への社会的関心は大きく変化し、気候変動や生物多様性の損失といった地球規模の課題が顕在化する中で、「山の日」が社会で果たすべき役割はますます大きくなっています。

コロナ禍を経て、人々の健康志向や自然とのつながりを求める意識が高まる中、当協議会の活動も新たなステージを迎えています。しかしながら、運営面では依然としてリソース不足が課題であり、2023年度末に1社、2024年度にはさらに1社のオフィシャルパートナーが退会されるなど、財政基盤の安定化と推進力強化が喫緊の課題として続いております。

2024年8月1日には、当協議会は公益財団法人へ移行し、その活動の公益性が改めて認められました。また、2025年3月の臨時理事会においては、これまでの活動と社会の変化を踏まえ、当協議会の新たな理念・ミッション・ビジョンを策定し、ご報告いたしました。

これらの節目を迎え、私たちは過去10年近くにわたる活動・経験を礎に、これからの「山の日」を取り巻く変化を的確に捉え、「山の未来をつくる」ための重要な時期にあると認識しています。

2. 事業

第8回「山の日」全国大会「山の日 TOKYO 2024」は、2024年3月のJR奥多摩駅周辺でのプレイベント開催に始まり、8月11日の記念式典およびフェスティバル、さらに3月から11月にかけて約160件の関連イベント、デジタルスタンプラリー、4回の島しょツアーが実施され、無事終了いたしました。

また、2025年度以降の全国大会開催地として、福井県および岐阜県からそれぞれ開催立候補を受け、理事会での審議の結果、2025年度は福井県、2026年度は岐阜県をそれぞれ開催地とすることを決議いたしました。各県へはその旨を通知するとともに、開催準備に協力しております。

登山や山に向かう主要な動機の一つが「健康」であることは、各種調査でも明らかになっています。このことは、当協議会のミッション、および政策・社会のニーズにも合致することから、主要事業として2025年1月に当協議会主催で「山の日と健康」をテーマとしたフォーラムを東京都新宿区で開催いたしました。2025年以降も、「健康」分野での活動を継続的に行うための企画を進めてまいります。

「夏山フェスタ名古屋」「夏山フェスタ福岡」「ぐんま山フェス」には共催として参画し、山岳スポーツの振興に貢献いたしました。

ホームページの大幅更新から4年目に入り、投稿内容は地域・分野ともに拡大を続けております。編集要員を増員し、投稿の質の向上および投稿数の増加に対応可能な体制を整えました。また、ホームページを通して全国大会とのつながりや連携を深めております。

祝日「山の日」の認知度を高め、また各地の活動団体との連携強化を図るため、各地イベントへのぼり旗・横断幕の掲出件数を大幅に増加させました。予算を確保し一層の掲出拡大を図ることで、「山の日」のさらなる認知度向上を目指しております。

3. 組織

科学委員会メンバーが、2024年9月に国際連合食糧農業機関（FAO）のローマ本部を訪問し、マウンテンパートナーシップ（MP）への加盟に向けて打ち合わせを行いました。その後の準備を経て、2025年3月に加盟を申請いたしました。

マウンテンパートナーシップは、持続可能な山岳地域の発展の重要性に対する認識を高めるために活動しており、この加盟により、日本の山地における自然・社会・文化に関わる活動を当協議会が国際社会に発信する上で、重要な役割を担うことが期待されます。

政策委員会は、2024年度に超党派「山の日」議員連盟が主導した山岳環境整備を主題とする5回の議員連盟総会へ民間団体の出席を促し、多様な利用者の要望を政策に反映させる役割を果たしました。今後も、「山の日」に関連する政策分野において、民間側のとりまとめ役を積極的に果たしてまいります。

4. これから

国民の祝日「山の日」を通じて社会に貢献していくためには、当協議会の活動もさらなる飛躍が求められております。

最大の課題は、これまでの企業・団体・個人賛助会員からの会費・寄附に依存する収入構造に加えて、多様な資金源を確保することでバランスの取れた財政基盤を構築していくことです。人材面では、2024 年度に発足したボランティア「山の日応援団」の拡充を含め、より一層多様な人材の発掘が不可欠です。

これらの実現のためには、関係者の皆様との一層の連携が不可欠です。

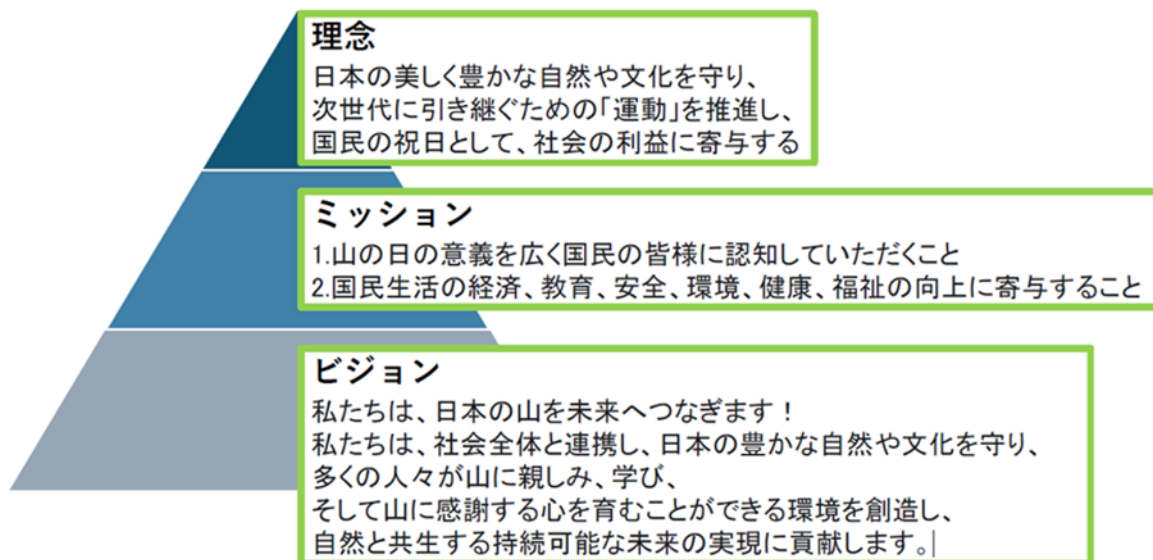
2025年5月29日

公益財団法人全国山の日協議会

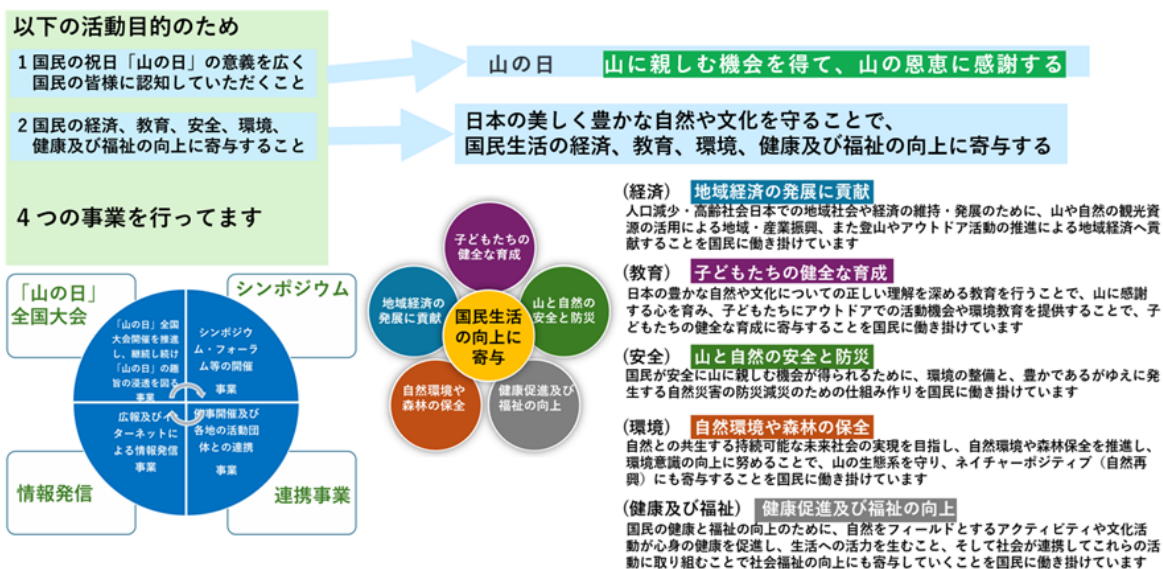
理事長 梶 正彦

1. 理念・ミッション・ビジョン

公益財団法人 全国山の日協議会 の理念、ミッション、ビジョン



参考 協議会のミッションと事業



(1) 策定の趣旨

当協議会は、2016年4月1日の設立以来、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という「山の日」の意義を広く国民に周知し、社会環境の整備に寄与することを目的に活動してまいりました。

しかしながら、設立してから2024年に至るまでの8年間、活動の指針となるべき理念、ミッション、ビジョンが明確に定義されておらず、下記のような課題が生じておりました。

- ・組織の一体感不足と方向性の不明確化
- ・外部からの共感と信頼の獲得の困難
- ・意思決定の迅速化と質の向上に対するもどかしさ
- ・持続的な成長実現に向けての指針を示せない等

これらの課題を解決し、より効果的かつ持続的な活動を展開するため、組織・戦略委員会において2024年度活動テーマとして、理念、ミッション、ビジョン策定に取り組むことといたしました。

(2) 策定の経緯

2024年6月に新体制で発足した組織・戦略委員会において、2024年度の活動テーマの一つとして理念、ミッション、ビジョン策定を掲げました。

2024年10月31日に第1回組織・戦略委員会を開催し、ビジョン策定のキックオフを行い、その後、複数回のミーティング、ディスカッションを重ね、理念、ミッション、ビジョンを策定するに至りました。(2025年3月25日 2024年度第2回通常理事会にて報告)

今後、一年をかけて、広く多くの方々からご意見をいただき、来年4月に最終的な理念、ミッション、ビジョンとして制定したいと考えています。

2. 公益財団法人への移行

2024年8月1日に内閣府より正式認可を受けて一般財団法人から公益財団法人に移行しました。当協議会への会費・ご寄付は、税法上の優遇措置の対象となることから、優遇措置について受領書に説明書きを掲載、HPに詳細説明を掲示しました。

3. 事業の実施概要

(1) 「山の日」全国大会開催を推進し継続させ「山の日」の趣旨の浸透を図る事業

■ 第8回「山の日」全国大会TOKYO2024（東京都、2024年開催）

2024年8月10日・11日

山とともに成長する都市、東京。

～山々の恵みを未来へつなぐ～

をテーマに、第8回「山の日」全国大会が開催されました。

当協議会は実行委員会の構成員として、この大会に参加しました。

詳しくは「大会報告書」（発行日：2025年2月
発行：第8回「山の日」全国大会実行委員会）をご参照ください。

また8月11日の記念式典はインターネット配信を行い、全国のみなさまと祝日「山の日」を共有しました。記念式典等の模様はYouTubeチャンネルでご覧いただくことができます。



■ 第9回「山の日」全国大会FUKUI2025（福井県、2025年に開催）

2025年8月11日第9回「山の日」全国大会開催予定。

実行委員会構成員として開催準備に協力。

2024年12月には大会ロゴマークが決定し、2025年2月には公式ホームページが開設され、PR動画が公開されました。

<https://www.yamanohi-fukui-2025.com/>



第9回「山の日」全国大会

■ 第10回大会（2026年）以降の大会開催地について

「山の日」全国大会 開催基準要綱に基づき、先催県を除く道府県に対して立候補のご意向伺いを2024年7月に発信しました。

2026年の第10回記念大会については岐阜県での開催が決定しました。

（2）シンポジウム・フォーラム等の開催事業

■ 「山の日」ニューイヤーフォーラム2025 ～山と健康～

2025年の1月29日（水）、新宿区立四谷区民ホールを会場として「山の日」ニューイヤーフォーラム2025 ～山と健康～を開催しました。桜花、田中陽希、仲川希良、野口健、花谷泰広、近藤謙司の6名の山の日アンバサダーが登壇しました。講演の様子はYouTube動画にてお伝えしています。

後援 警察庁、消防庁、文部科学省、観光庁、林野庁、環境省、東京都環境局、毎日新聞社、都政新報、共同通信社、NHK、筑波大学山岳科学センター、日本山岳・スポーツクライミング協会、日本山岳会、日本勤労者山岳連盟、日本山岳ガイド協会

特別協賛 味の素株式会社（オフィシャルパートナー）
株式会社マツキヨココカラ&カンパニー（オフィシャルパートナー）

協賛 イワタニ・プリムス株式会社（ドイター）
ミレー・マウンテン・グループ・ジャパン株式会社
キーン・ジャパン合同会社
東京山岳ガイド協会
大東力カオ株式会社

講演の様子はYouTube動画 <https://yamanohi.net/report.php?id=3795>

告知チラシ



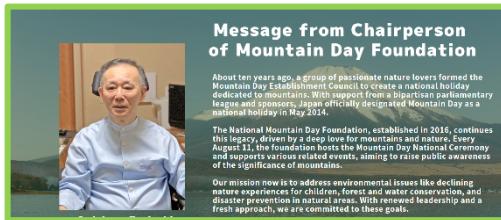
会場様子



(3) 広報及びインターネットによる情報発信事業

■ 山の日ホームページ 「英語ページ」を新設しました

2024年10月1日英語ページを追加し、山の日の説明、科学委員会の紹介をしました。



■ 山の日ホームページ 「山の日はどう祝う?」「全国山の日協議会とは?」を新設して「山の日」と当協議会の活動をより知って頂くよう紹介しました。

■ 山の日ホームページ 「その他の委員会」を新設して当協議会の委員会活動をより知って頂くよう紹介しました。

■ 「山の日」ニューイヤーフォーラム2025 ～山と健康～

2025年2月、広報・デジタル委員会は、フォーラムの様様を YouTube 動画にてお伝えしました。

講演の様様 YouTube 動画 <https://yamanohi.net/report.php?id=3795>

■ 「優秀作品」について表彰しました

2025年2月、広報・デジタル委員会は、全国山の日協議会のホームページへの投稿作品の中から、優秀作品5作品を選定し、感謝の意をお伝えすることとなりました。

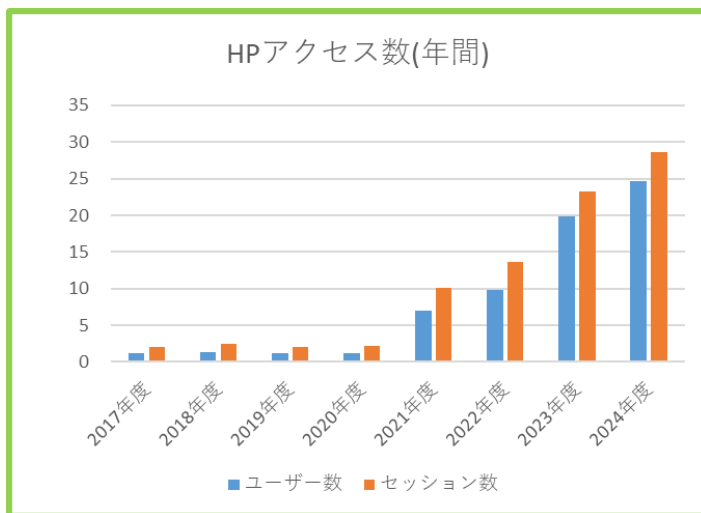


■ HPアクセス数

積極的な情報発信を進めたことにより2024年度もアクセス数は順調に伸びました。

2024年度 ユーザー数 25万人

アクセス数 29万件



■ 山の日広報資材

山の日のはり旗、横断幕、ステッカー、二つ折りカード、水に流せるティッシュ等、広報資材を制作し、各種イベントにて展示、配布をしました。

山の日広報資材	貸出数	貸出イベント
のぼり旗	65	29
ミニ横断幕	41	33
3 M横断幕	5	5

山の日配布資材	配布数	配布イベント
ステッカー	900	3
二つ折り広報カード	8000	46
二つ折り広報カード（ティッシュ付）	8000	10

(4) 催事開催及び各地の活動団体との連携事業

■ 「山の日」に係る催事（主催、共催、後援、協力等）

主催 1 件、共催 3 件、協力 11 件、後援 17 件 合計 32 件

件数	2024年度行事名	開催日	開催場所	
1	「山の日」ニューイヤーフォーラム2025～山と健康～	2025年1月29日（水）	東京都	主催
2	第8回「山の日」全国大会TOKYO2024	8月10日（土）～11日（日・祝山の日）	東京都	共催
3	岳都・松本「山岳フォーラム」	4月～2025年3月	長野県	共催
4	アミノバイタル®プレゼンツ ぐんま山フェスタ2024	10月26日（土）～27（日）	群馬県	共催
5	くじゅうフェス2024 ※大会継続イベント	8月4日（日）	大分県	協力
6	「山の日」四方山祭り in 上高地 ※大会継続イベント	8月11日（日・祝山の日）	長野県	協力
7	やまなしで過ごす「山の日」2024 ※大会継続イベント	8月11日（日・祝山の日）中心 5月～11月	山梨県	協力
8	東京都山岳連盟 第8回「山の日」全国大会東京2024企画	5月8日～2025年3月31日	東京都	後援
9	みどりふれあうフェスティバル2024 第33回森と花の祭典みどりの感謝祭	5月11日（土）～12日（日）	東京都	協力
10	高原山頂サミット（高原山開きミニセレモニー）	5月26日（日）	栃木県	後援
11	第22回ひろしま「山の日」県民の集い	6月2日（日）	広島県	後援
12	日本山岳ガイド協会「安全のための知識と技術 公開講座2024」	6月8日～2025年3月31日	愛知県、福岡県、東京都	後援
13	第10回 夏山フェスタ 愛知	6月8日（土）～9日（日）	愛知県	協力
14	第7回夏山フェスタin福岡2024	6月22日（土）～23日（日）	福岡県	協力
15	新潟県登山祭(第6回 9 回弥彦山たいまつ登山祭 第67回高頭祭)	7月25日（木）	新潟県	後援
16	第8回大崎上島「山の日」神峰山2024講演会	8月11日（日・祝山の日）	広島県	後援
17	2024ふるさとの山に登ろう in 大分市・豊後大野市『雨乞岳・鳥帽子岳・鍬ヶ岳』	8月11日（日・祝山の日）	大分県	後援
18	愛媛県 環境啓発親子登山2024 石鎚山系瓶ヶ森	8月11日（日・祝山の日）	愛媛県	後援
19	ヤマケイ潤沢フェスティバル2024	9月5日（木）～8日（日）	長野県	後援
20	里山連絡会議	9月7日（土）	三重県	協力
21	第14回全国草原サミット・シンポジウム in おたり	10月4日（金）～5日（土）	長野県	協力
22	第32回ハセツネCup	10月13日（日）～14日（月）	東京都	協力
23	里山応援団 収穫感謝祭	10月20日（日）	栃木県	後援
24	みちのくボルフェス2024	11月2日（土）	宮城県	協力
25	川苔山登山口で安全登山キャンペーン	11月9日（土）	東京都	協力
26	日本山岳ガイド協会 佐久自然ふれあい集会2024	11月11日（月）～11月12日（火）	長野県	後援
27	たかはら里山の集い2024	11月17日（日）	栃木県	後援
28	里山のくらしと自然－写真データ&コメント 募集	11月17日（日）～2025年11月16日	栃木県	後援
29	山の恵みの映画たち2024	11月22日（金）～24日（日）	山形県	後援
30	中部山岳国立公園指定90周年記念事業	12月7日（土）	長野県	後援
31	第12回大野山アウトドアふゆフェスタ	12月1日（土）	神奈川県	後援
32	里山学講義2025 地域に身近な里山林を活性化しよう	2025年2月16日（日）	栃木県	後援

4. 山の日アンバサダー

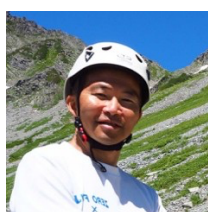
国民の祝日「山の日」の更なる周知の一翼を担っていただき、併せて当会の目的と社会的公益性を対外的にアピールして下さるキーパーソンとして、2025年3月末現在で30名の「山の日アンバサダー」に「山の日」の趣旨と主催事業等の告知協力などのお力添えをいただいています。



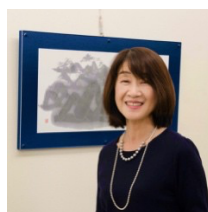
石丸謙二郎



伊藤 伴



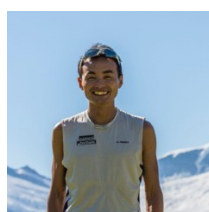
猪熊隆之



今井香子



桜花



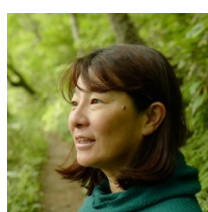
奥宮俊祐



加賀谷はつみ



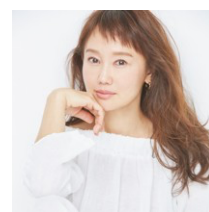
片山右京



柏 澄子



角谷道弘



工藤夕貴



小林綾子



小林千穂



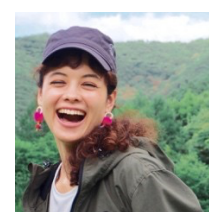
近藤謙司



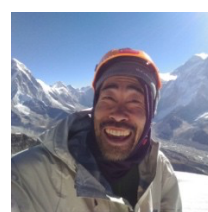
シェルパ斉藤



釈由美子



仲川希良



なすび



中村みつを



野口健



萩原浩司



花谷泰広



田中陽希



四角友里



吉井省一



Lama Gyalu



若村麻由美



渡部暁斗



かほ



高橋勇市

5. 賛助会員

草の根の力で育まれて来た団体で、政府や特定の団体・業界に大きく頼らず、志ある企業・団体、個人のご支援で運営しています。これまでの道のりは決して平坦ではなく、財源確保という課題に日々向き合っています。各種事業の財源の多くをオフィシャルパートナーの協賛金、賛助会員の会費に求めています。

事業の実施、事務局機能の維持のため、持続的な財源確保は重要な課題であり、賛助会員入会、オフィシャルパートナー就任については尚一層努力し、会費収入を増加させるために関係者にご協力をお願いするとともに、役職員一丸となって入会者を増加させる活動を行っております。

なお、現在オフィシャルパートナーとして、味の素株式会社様、株式会社マツキヨココカラ&カンパニー様にご協賛をいただいております。

2024年3月末現在の賛助会員数は次のとおりです。

■オフィシャルパートナー 2社

味の素株式会

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

なお、株式会社ゴールドウイン様、日清食品ホールディングス株式会社様は2024年3月末をもってオフィシャルパートナーを退会されました。長きに渡るご支援に改めまして感謝申し上げます。

■団体会員については【資料1】 団体会員の概要をご覧ください

団体賛助会員 120団体（9団体増加）

個人賛助会員 389名

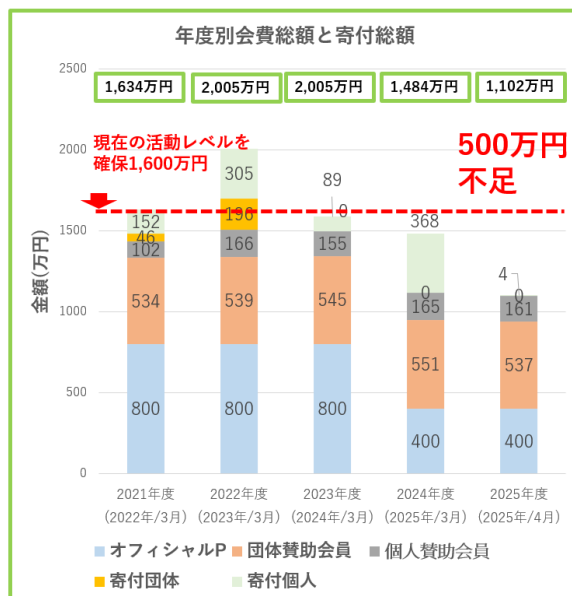
■多くの方々からご寄付をいただきました。

2025年3月31日 時点での寄附額は3,684,000円でした。

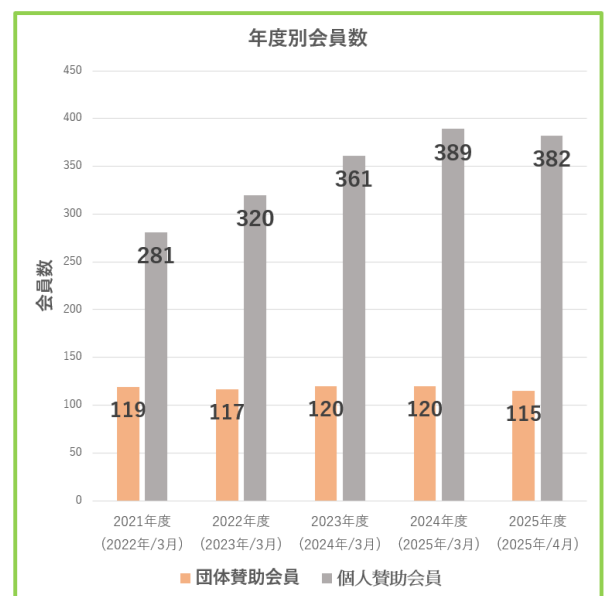
この場をおかりしまして心よりお礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

■年度別会費総額と寄付総額



■年度別会員数



オフィシャルパートナーおよび団体会員のご紹介

120団体の内訳は下記の通りです。(2025年3月31日現在)

■ オフィシャルパートナー：2社

味の素株式会社

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

■ 特別団体会員（3口以上）：21団体

味の素株式会社、株式会社アドベンチャーガイズ、アルピコホールディングス株式会社、株式会社インテリジェント ウェイブ、OMC 株式会社、AUTHENTIC JAPAN 株式会社、キリンホールディングス株式会社、株式会社ゴールドウイン、株式会社コロニアスポーツウェアジャパン、株式会社スワニー、中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー、電気事業連合会、東海旅客鉄道株式会社、

株式会社長野銀行、日清食品ホールディングス株式会社、日精エー・エス・ビー機械株式会社、日本勤労者山岳連盟、公益社団法人日本山岳会、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、株式会社マツキヨココカラ&カンパニー、株式会社モンベル

■ 地方公共団体会員：28団体

大分県、沖縄県、岐阜県、東京都、栃木県、鳥取県、富山県、長野県、山形県、山梨県（10県）
安曇野市、小谷村、上山市、川上村、甲府市、九重町、塩谷町、静岡市、大山町、高山市、竹田市、丹波山村、那須町、白馬村、早川町、松本市、山形市、遊佐町（18市町村）

■ 団体会員（1口または2口）：71団体

アルパインツアーサービス株式会社、イワタニ・プリムス株式会社、学校法人インディアインターナショナルスクール学園、International Society of Nature and Forest Medicine、インフカム株式会社、株式会社エイアンドエフ、大崎上島「山の日」神峰山、岡谷商工会議所、奥飛観光開発株式会社、上高地観光旅館組合、カリマー インターナショナル株式会社、株式会社カンセキWILD-1、関東自動車株式会社、キーン・ジャパン合同会社、北アルプス北部山小屋組合、北アルプス山小屋友交会、クリヤマジャパン株式会社、ぐんま山フェスタ実行委員会、京王電鉄株式会社、株式会社好日山荘、国際自然環境アウトドア専門学校、西条・山と水の環境機構、一般財団法人自然公園財団、株式会社下野新聞社、株式会社昭文社、株式会社スペースキー、株式会社ゼロアクセル、株式会社総合サービス、大東カカオ株式会社、高尾登山電鉄株式会社、立山山荘協同組合、谷川岳エコツーリズム推進協議会、株式会社タタカ、株式会社中部経済新聞社、超党派「山の日」議員連盟、筑波大学山岳科学センター、株式会社テレビ松本ケーブルビジョン、東京山岳ガイド協会、有限会社徳澤園、株式会社トラベルギャラリー、株式会社ナカニシヤ出版、中村社会保険労務士事務所、一般社団法人日本アルプス ガイドセンター、公益社団法人日本環境教育フォーラム、公益社団法人日本山岳ガイド協会、日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社、一般社団法人日本秘湯を守る会、飛騨山小屋友交会、ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、株式会社 fine track、特定非営利活動法人深田久弥と山の文化を愛する会、富士急行株式会社、特定非営利活動法人富士山世界遺産国民会議、株式会社ベネクス、細谷火工株式会社、株式会社ボルテージコミュニケーションズ、株式会社毎日企画サービス、一般社団法人マウントフジトレイルクラブ、MAMMUT SPORTS GROUP JAPAN 株式会社、株式会社ミウラ・ドルフィンズ 三浦雄一郎、三重産業株式会社、ミズノ株式会社、三峰川電力株式会社、ミレー・マウンテン・グループ・ジャパン株式会社、株式会社山と溪谷社、一般社団法人 山と水と緑の会、山梨大学山岳科学特別教育プログラム、Yamanashi MTB 山守人、山梨銘醸株式会社、槍ヶ岳観光株式会社、雷電株式会社

※あいうえお順 ※太文字新規入会会員

6. 評議員、理事、監事の紹介 2025年3月現在

【評議員 10 名】

評議員	青柳 正規	多摩美術大学理事長 元文化庁長官 文化功労者
評議員	安住 淳	衆議院議員 超党派「山の日」議員連盟副会長
評議員	磯野 光一	元日本興業銀行
評議員	今井 通子	医師 国際自然森林医学会会長 名誉都民
評議員	勝野 哲	中部電力株式会社代表取締役会長
評議員	城崎建太郎	弁護士
評議員	鳥居 敏男	一般財団法人自然公園財団専務理事
評議員	本郷 浩二	一般社団法人全国木材組合連合会副会長 元林野庁長官
評議員	丸川 珠代	元参議院議員 元超党派「山の日」議員連盟幹事長
評議員	水野 正人	ミズノ株式会社相談役会長

【理事 15名 監事 2名】

理事	会長	谷垣 禎一	元衆議院議員
理事	副会長	衛藤征士郎	元衆議院議員 元超党派「山の日」議員連盟会長
理事	副会長	橋本 岳	元衆議院議員 元厚生労働副大臣
理事	副会長	務台 俊介	元衆議院議員 元環境副大臣兼内閣府副大臣 元超党派「山の日」議員連盟事務局長
理事	理事長	梶 正彦	タタ・コンサルタンシー・サービシズ・ジャパン株式会社前会長
理事	常務理事	堺 文亮	ソニー株式会社元執行役員コーポレートエグゼクティブ CIO
理事	常務理事	三木 健一	株式会社インテリジェントウェイブ取締役 元大和証券元常務取締役副管理本部長(システム部門等担当)
理事	事務局長	手塚 友恵	公益社団法人日本山岳ガイド協会理事
理事		梅田 暁	株式会社大和総研元専務取締役
理事		近藤 謙司	公益社団法人日本山岳ガイド協会理事 特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会理事
理事		佐藤 帯刀	弁護士ドットコム株式会社 政策企画室長 一般社団法人クラウド型電子署名サービス協議会事務局長
理事		中西 紀夫	富山県山岳連盟会長
理事		古川 研吾	公認会計士 公益社団法人日本山岳会 元公益法人運営委員
理事		村上美智子	特定非営利活動法人 FIRST ASCENT JAPAN.代表 宮城県山岳連盟前会長
理事		望月 賢司	望月賢司法律事務所代表弁護士 公益社団法人日本山岳会理事
監事		加藤銀次郎	第1回「山の日」記念全国大会実行委員会事務局長
監事		三輪 歩美	シティグループ証券株式会社元業務本部長



公益財団法人
全国山の日協議会

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10-5 ハツ橋ビル 301号室

TEL 03-5315-0652 FAX 03-5315-0653

メール office@yamanohi.net URL <https://www.yamanohi.net>